

特例期間授業マニュアル（学生向け）

名古屋大学物理学教室では、4月1日に示された政府の「新型コロナウイルス感染症専門家会議」の状況分析・提言、それに伴う全学通知（学生の皆様へ <http://www.nagoya-u.ac.jp/academics/reminder/2020guidance/>）を踏まえ、2020年度春学期の物理学教室の授業について、以下の通り実施することとします。やむを得ず来学する際には、以下の内容に留意するようにして下さい。なお、緊急事態宣言などに応じて来学できなくなった場合には、内容を大きく変更する可能性があります。

● 2020年度春学期の行動指針

（1）体調管理について

- ・ 1日1回、体温を測定して下さい。ただし、自宅に体温計がない場合は、無理に購入する必要はありません。
- ・ こまめに手洗いをするよう心がけて下さい。
- ・ 37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合や、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）、嗅覚や味覚に異常がある場合には、「名古屋大学保健管理室」に連絡して下さい。

【名古屋大学保健管理室】

- ・ 電話：052-789-3980
- ・ メール：hokekan@htc.nagoya-u.ac.jp（夜間・週末も対応）

（2）外出について

- ・ 不要不急の外出は控えて下さい。
- ・ 外出する場合は、「3つの密」すなわち「密閉・密集・密接」を避けて下さい。
- ・ 外出する、あるいは外出した場合には、必ず自身の行動記録をつけて下さい。

（3）海外渡航について

- ・ 現在、外務省によって全世界を対象に、不要不急の渡航を控える通知、ないし渡航を中止する勧告がなされています。中国、韓国、豪州、米国、欧州各国などについては渡航中止勧告が出ています。
- ・ 研究や調査、留学、春季休暇などで海外に渡航していた場合、帰国してから14日間は来学せず、自宅に待機して下さい。

(4) NUCT を用いたオンライン学習について

- ・ 自宅でのインターネット接続環境に問題がない場合は、できる限りオンライン学習を自宅で行って下さい。これは、不要不急の外出と「3つの密」を避けるためです。
- ・ 自宅でのインターネット接続環境に問題がある場合は、講義室やサテライトラボ (A250 号室 <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/media/system/outline.html>) など学内のネットワーク環境を利用して下さい。
- ・ やむを得ず来学する場合、(5) の注意事項にしたがって下さい。

(5) 来学について【非常事態宣言等に応じて来学できなくなった場合はこの限りではありません】

- ・ 体温計がある場合は、当日朝に体温を測定し、37.5°C以上であれば来学しないで下さい。また、発熱、倦怠感、呼吸器症状、嗅覚・味覚異常がある場合にも来学しないようにして下さい。
- ・ 大学内においても、「3つの密」すなわち「密閉・密集・密接」を避けて下さい。
- ・ マスクの着用を推奨します。ただし、大学はマスクを支給できません。
- ・ こまめに手洗いをするよう心がけて下さい。
- ・ 来学当日の移動経路を時刻と共に記録して保管してください。名古屋大学関係者に感染者が出た場合に、後日問い合わせる場合があります。これは、濃厚接触者を特定し、感染経路を追跡するためです。

(6) 部活動やサークル活動について

- ・ 名古屋大学全学において、すべての部活動およびサークル活動を中止するように通知が出ていますので、解除されるまでは、活動を行わないようにして下さい。

(7) その他

- ・ 全学メールや NUCT サイト (<https://ct.nagoya-u.ac.jp/>)、理学部や物理学教室のウェブサイトをこまめに確認し、最新情報を把握して下さい。

● 2020 年度春学期の講義等の実施に係る基本方針

原則として、教育学習支援システム (NUCT) などの ICT を活用したデジタル授業を中心とし、対面による授業は実施しません。

ただし、来学する場合は、以下の「感染防止の考え方」を徹底するなどの対策を講じて下さい。

【感染防止の考え方】

- ◇ 発熱等の風邪症状がある場合は、大学に來学せず自宅等で静養する。次の症状がある場合は「名古屋大学保健管理室」に相談する。(連絡先は1ページ目)
 - ・ 風邪症状や 37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合
 - ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合
 - ・ 味がうすいまたはしないなどの味覚異常がある場合
- ◇ 隣の人との距離の確保(食堂等での飲食時も含む)
 - ・ 1つおきに着席、マスク着用
- ◇ 密室等で長時間を過ごす環境の排除
 - ・ 30~40分を目安に休憩をとり、換気を実施
 - ・ 休憩時間には手洗い

以上の方針については、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の状況などを踏まえ、変更する場合がありますので、あらかじめご承知おきください。変更する場合は、物理学教室のホームページ (<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/>) でお知らせします。

以下では、各授業形態の方針を示します。ただし、各授業形態は変更があるかもしれません。こうした変更は、NUCTの「お知らせ」機能を用いて通知する場合があります。常にNUCTや物理学教室のホームページを訪れ、情報の把握に努めて下さい。

(1) 講義について

- ・ 講義資料の自習、オフィスアワーを利用した質問、小テストなどを基本とした授業とします。授業は原則15週分行われます。
- ・ 学生の皆さんは、担当教員がNUCTにアップロードした講義資料を用いた自習を行います。科目によっては、ZoomやSkypeなどを用いたオンライン授業を実施する場合があります。その場合でも、自宅で動画配信を受けるインターネット環境がない学生の皆さんに配慮します。
- ・ 教員から学生への一方通行ではなく、双方向コミュニケーションを必須とします。授業担当の教員が設定するオフィスアワーを利用して、質問をしたり指導を仰いだりして下さい。その際も、ZoomやSkypeなどを利用することとし、学生の皆さんが来学して教員や他の学生と対面することは避けてください。オフィスアワーは、原則授業が行われる日時とします。科目によっては、自習の達成度や理解度をはかる「小テスト」を実施する場合があります。
- ・ 授業に関するお知らせは、NUCT上の掲示、および全学メールアドレス(XXX@X.mbox.nagoya-u.ac.jp)を介して行われます。常にこれらの導線に注意をはら

い、情報の把握に努めて下さい。

(2) 演習について

- ・ 演習の授業も NUCT を介した自宅学習とします。
- ・ 学生の皆さんは、担当教員が NUCT にアップロードしたデジタル教材（演習問題）をダウンロードして下さい。担当教員が演習授業日までに演習問題ファイルを NUCT にアップロードし、提出期日を提示します。
- ・ 学生の皆さんは、期日までに答案を作成し、NUCT にアップロードして下さい。答案のファイル名は「日付_○限_講義名_氏名.pdf」として下さい（例: 0422_1 限_物理学演習1-1_清水裕彦.pdf）。実際の提出方法については、担当教員の指示を仰いで下さい。

(3) 学部のセミナーについて

- ・ 学部のセミナー（4年・物理学セミナー等）については、Zoom や Skype などを利用したオンライン授業を実施します。対面での授業は行いません。授業に際しては、担当教員の指示にしたがって下さい。

(4) 実験について

- ・ 実験の授業では、自宅における学習、実験、データ解析、結果の報告を実施します。大学に來学するかたちでの実験の授業は実施しません。
- ・ 実験の授業でも、「(1) 講義について」と同様に、オンラインでの双方向コミュニケーションを行います。オフィスアワーを利用して、質問をしたり指導を仰いだりして下さい。なお、学習の進捗に応じて、オフィスアワーは各実験課題ごとに変更される場合があります。担当教員の指示に注意して下さい。

(5) 大学院の講究・セミナーおよび学部の卒業研究について

- ・ 大学院の講究（各研究室における教育活動）・セミナー（素核セミナー等）、および4年生の卒業研究（物理学講究または物理学特別実験）の実施にあたっては、講究・セミナーを開講する担当教員、または卒業研究を実施する研究室の指示にしたがって下さい。
- ・ 來学する場合は、全学教育委員会の方針に則って、3つの密（密閉・密集・密接環境）を避け、適宜休憩をとり、換気を徹底し、入室前に手洗いをし、適宜マスクを着用して下さい。また、來学日の朝に、必ず体温を測定して下さい。担当教員が、授業の開始前に体温、倦怠感の有無、咳の有無などの風邪の症状がないか、全ての学生に確認します。
- ・ 來学当日の移動経路を時刻と共に記録して保管してください。名古屋大学関係者に感染者が出た場合に、後日問い合わせる場合があります。これは、濃厚接触者を特定し、感染経路を追跡するためです。

以上